



瑞浪市青少年育成市民会議だより 第16号

笑顔あふれるみずなみ

『みとめて ほめて はげまして』 みんなの力で健やかに

〔発行〕 瑞浪市青少年育成市民会議 TEL 68-5281 (総合文化センター内)

〔編集〕 瑞浪市青少年育成市民会議広報部

令和元年度 第2回瑞浪市青少年育成市民会議総会



市民会議総会



感謝状の授与



感謝状の授与



土岐地区青少年育成町民会議発表

「第2回瑞浪市青少年育成市民会議総会」を開催！

第2回瑞浪市青少年育成市民会議総会が2月16日（日）に瑞浪市総合文化センター講堂にて開かれました。長年にわたり、青少年育成に貢献された方々に感謝状が授与され、市民会議の活動報告、青少年活動モデル地区の実践発表が行われました。また、土岐地区青少年育成町民会議が実践発表を行い、「中学生と語る会」ほか青少年のたくましく豊かな心身を養う具体的な地域活動の様子や成果が紹介されました。

被顕彰者（敬称略）

	名 称	長年にわたる貢献活動の内容
団 体	草刈りボランティア隊	旧稲津中・南中の草刈り。生活・学習環境の美化に協力。
	グループかがやき	土岐小の朝活動における「読み聞かせ」を通じ、読書習慣の定着に協力。
個 人	加藤 智一、奥村 孝志、田中 茂	釜戸町、明世町、瑞浪地区の青少年育成推進員。町民会議との連携推進。
	酒井 厚司	東濃西部少年センター指導員。夜間巡回指導等による非行防止。
	伊藤 正代	釜戸小児童への自発的な見守りや付き添い、登下校の安全確保に協力。
	工藤 宜成、安藤 昭吉、後藤 豊文	稲津小児童への見守りやあいさつ運動、登下校の安全確保に協力。
	奥村 了、大森 建生	明世小のスクールサポーターとして登下校の安全確保に協力。
	山路 基洋	剣道の指導者として青少年の健全な人間形成に資する活動。
	安藤 知幸	釜戸かけっこクラブの指導者。児童の地域行事参加を促進。
	伊藤 鏡	瑞浪小ほか様々な教育施設の草刈り。生活・学習環境の美化に協力。

「学校には未来の風が吹いている」

～地域・学校協働のハイブリッドシステムを生かした教育～

事業部会（家庭地域教育事業）

7月23日（火）、瑞浪市PTA連合会主催の「教育講演・懇談会」に青少年育成市民会議事業部会員（家庭地域教育事業担当者）も参加しました。この「教育講演・懇談会」は、「家庭・学校・地域の連携と協働の強化に向けた研修」であり、瑞浪市PTA連合会最大の事業です。本事業は、会員である市内全小中学校保護者・教員ならびに事業部会員を対象に行われました。

講師は東海初となる義務教育学校白川郷学園元校長 水川和彦先生で、「学校には未来の風が吹いている～地域・学校協働のハイブリッドシステムを生かした教育～」と題しての講演でした。「一人一人が互いの異なる背景を尊重し、それぞれが多様な経験を重ねながら、様々な得意分野・能力を伸ばしていくことが求められている」「社会連携で子どもを育てることが大切なのではなく、社会に開かれた教育課程でしか、未来を拓く子どもは育てられない時代が来ている」といった内容で、実際の写真やご自身の経験からのお話はとても興味深くあっという間の90分間でした。

講演後の懇談会でも熱心な発言が相次ぎました。

講師：水川和彦先生（岐阜聖徳学園大学教育学部教授）



講演会・懇談会の感想より

- ・水川先生のお話は何度もうかがいましたが、いつ聞いてもよいお話だと思いました。
- ・子ども達がどう育っていくのか、どう育てていくのかを考える機会となりました。
- ・家庭、学校、地域の三者が協力して子どもを育てていくということを学びました。
- ・未来を切り拓いていく子ども達をどう育てていくのか。周りの大人が今、考えていかななくてはならないことを再確認しました。自らの子育てを見直すよいきっかけになりました。
- ・全ての話が身にしみました。自分の子どもへの接し方が大きく変化しそうです。
- ・親として、どのように思春期の子どもに接したら良いか、具体的に理解できました。
- ・PTA役員としてどうかよりも、親としてどうか、どうあるべきかを考えるよい機会になりました。
- ・最近の若者に感じている事が全て聞けました。今後これを子どもや若者に伝えられたらと思います。
- ・これからの時代を生きるために必要なことのヒントをもらえました。
- ・初めて聞くことも多く、子どもに携わる人間として大切にすることを学ばせていただきました。
- ・長寿社会となり、労働力がAIロボットに変わっていくことが予想されるなか、子どもたちの教育に対する考えが聞けて、大変参考になりました。

スマホなど情報機器との付き合い方は？

「高校生と語る会」で意見交流

事業部会（家庭地域教育事業）

瑞浪高等学校・中京学院大学附属中京高等学校・麗澤瑞浪高等学校の生徒と青少年育成市民会議事業部会（家庭地域教育事業）・各町民会議の皆さん約 60 名の参加を得て、9 月 29 日（日）に「高校生と語る会」を開催し、情報機器使用の現状について意見交流をしました。



地域の大人や保護者の声

- ・高校受験合格で子どもに携帯を持たせ、購入時にフィルタリングをかけた。
- ・音楽を両耳イヤホンで聴いている姿を見ることがあるが、安全面で心配している。
- ・スマホなどを朝預かるなどのルールが設定されている高校は親としても安心できる。
- ・高校生の方がよく知っていて使い慣れている。親世代の（機能や使い方の）勉強も必要だと思う。
- ・情報機器は非常に便利な面と不便・危険な面がある。やはり自己管理とコミュニケーションが重要ではないかと思う。
- ・自分の人生は自分で決めるものだから、自分の時間も自分で管理できるようにならないといけないと思う。
- ・家庭でのルールも必要だが、個人の中でのルール（使い方の約束）をもつことが必要ではないか。自分自身に対する習慣づけ（自分で制限を加えて使うこと）が大人にも高校生にも必要だと思う。
- ・交流（話）をしてみて、参加した高校生の判断力の確かさを感じることができた。
- ・情報機器の使用目的が、仕事をしている大人と高校生ではかなり違っていることを実感した。

参加した高校生の声

- ・わが家では食事中は使用しない、お金がかかる場合は親にすぐに話す約束になっている。今は受験のため、使用を控えている。
- ・中学生の時は 9 時以降、今は 11 時以降には使用しないというルールになっている。
- ・食事中は家族との会話を大切にして、使用しないようにしている。
- ・勉強が忙しく、特に使う時間はないので、自分の携帯がなくても今は気にならない状況である。
- ・普段は学校で使用の規制もあるのでよかったが、夏休みに依存しすぎて赤点をとってしまった。
- ・Instagram・ツイッターは見るだけにしていて、書き込みはしないようにしている。女子の中には、Instagram に高校名や顔・名前を挙げている子もいる。
- ・架空請求の被害やゲームなどの課金で多額の請求を受けたり、SNS で出会って危険な目にあって警察問題になったりした子もいる。
- ・メール・ラインなどは文字なので、送り手と受け手の温度差（捉え方の違い）があると思う。送る前に文章を読み直して、相手に分かりやすい、誤解されない内容か確認する必要がある。



「子ども・若者育成支援全国強調月間」啓発活動

10月20日（日）～11月10日（日）にかけて、『子ども・若者育成支援全国強調月間』の啓発活動を中央公民館文化祭並びに各地区文化祭の6会場にて行いました。この活動の趣旨は、「青少年の健全な育成に対する市民の理解を深めるとともに、各種活動への積極的な参加と日常的な行動を促し、次代を担う子ども・若者の育成支援の一層の充実と定着を図る」ことです。

啓発用リーフレット・ティッシュ・マスクの配布活動を通して、「有害なインターネット環境から児童を守ろう」「未成年者喫煙防止啓発キャンペーン」「育てよう地域ぐるみで青少年」の呼びかけをしました。当日は、瑞浪市青少年育成市民会議会長の水野光二市長をはじめとした市民会議構成員に加え、各町民会議、東濃西部少年センター指導員、酒屋組合の皆さんにも協力をいただきました。



中央公民館文化祭 11／10



中央公民館文化祭 11／10



陶町文化祭・サニーヒルズ祭 10／20



日吉町文化祭 10／20



釜戸町文化祭 10／27



稲津町文化祭 10／27



大湫町文化祭 11／3

地域で青少年の健全育成にかかわってくださっている方々から寄稿いただきました

〈「瑞浪市子ども会連合会」の活動〉

子ども会連合会副会長 萩尾英明

現在、瑞浪地区・土岐地区・稲津地区・釜戸地区・日吉地区・陶地区・明世地区の7地区別々に子ども会連合会が存在し、その全地区をまとめた組織が「瑞浪市子ども会連合会」です。子ども会活動の目標と重点は、子ども達から『自主性・協調性・責任感・創造性・奉仕・健康』の想いを引き出すことで、活動内容は、中央公民館文化祭子ども広場・ドッチボール交流会・インリーダー研修会等です。インリーダー研修会では各務原市青少年自然の家で危険予知活動や大自然のもとでのカレー作り等を行ってきました。かまどを使って作るカレーは大人気です。子ども会連合会では他の学校区の子供達と仲間づくりができ、大変心温まる活動があります。現在、中学生・高校生のジュニアリーダー・ボランティアを募集しています。



〈「陶一周駅伝」に向けて〉

明世陸上スポーツ少年団 西尾和英

明世陸上スポーツ少年団では、毎年2月に行われる陶一周駅伝に参加しています。1チーム6人で力を合わせて走り、タスキをつなぎます。昨年度は、明世陸上として児童5チーム(男子3チーム、女子2チーム)、保護者3チーム、総勢48人が出場しました。1年間の集大成として出場しています。みんなでタスキを最後までつなぎ、すべてのチームが完走することが

できました。走り終わった後、家族で豚汁を食べながら、互いの健闘をたたえ合い、明世陸上としての絆、仲間との絆、家族の絆を深めることができました。

子どもたちの活動の場が減っていく近年、子どもたちの体力低下や心身の発達への影響などが心配されています。また、テレビゲームの進化により、体を動かす機会がさらに減少し、体力低下に拍車をかけているだけでなく、会話も減り、コミュニケーション能力の低下も心配されます。明世陸上スポーツ少年団は、「みんなで楽しく体力をつけよう」「いろんな種目に挑戦しよう」「専門種目で自己新記録をめざそう」という目標の下、子どもたち自身で、力を合わせて道具を準備し、リーダーがチームをまとめ、みんなで声をかけあって練習に取り組みます。また、保護者の方は、道具の準備や後片付けなど手伝ってくださるだけでなく、一緒に練習にも参加して下さっています。子ども同士や大人との関わりの中で、厳しい練習も楽しんで行うことができます。子どもたちは、できる楽しさや成長する喜びを実感し、仲間と協力することの大切さや保護者の方の支えに気付きます。そして感謝の気持ちを育むことを通して、人のために思いやりの行動がとれる人間に育つことを願い、これからも活動していきます。

〈「瑞浪地区青少年育成町民会議」の活動〉

主務者(集落支援員) 長瀬貞次

瑞中生がボランティアでうちわ配布

7月20日(土)の下山田区・穂並区の夏祭りから、8月17日(土)の上山田区夏祭り会場まで、瑞浪地区合わせて5会場「私たちの街は、私たちの手で美しく」のメッセージを印刷した美化啓発うちわを配布しました。瑞浪中学校生ボランティア、1年生から3年生の男子25名、女子29名合わせて54名が、瑞浪地区まちづくりの皆さんと一緒に活動してくれました。

参加した中学生ボランティアからは、「はじめは恥ずかしかったですが、楽しくできたと思います。」とか「人とのふれ合いができて良かった。」といった感想が聞かれました。また、祭り主催者の区長さんからは、「短時間でしたが笑顔いっぱい元気な配布できました。」「自分から仕事を見つけ積極的に行動してくれました。」などの意見をいただきました。

地域の方々とのふれ合いと、美化啓発の意識高揚は祭り参加者に伝わったと思います。



「無ガム中」大作戦 ～駅周辺清掃ボランティア～ 事業部会(環境改善事業)

12月21日(土)にJR瑞浪駅前から地下通路、駅裏までの路面のガムはがしや清掃活動を行う「無ガム中」大作戦を行いました。市民会議事業部会(環境改善事業担当)主催によるもので、今年度で5回目の実施となりました。当日は、師走にしては大変温かい日となり、部会員の他、瑞浪中学校・瑞浪北中学校・瑞浪南中学校・瑞浪高等学校の生徒さん、退職公務員連盟の方々を含めて約100名のボランティアの参加をいただきました。

ガムはがしは地下通路やバス停の路面を中心に、金属ベラやワイヤーブラシなどを使って取り除き、商店街のアーケードやベンチ周辺はゴミ拾いなどを行い、駅周辺は大変きれいになりました。参加した生徒さんは、このような活動を通して、ガムやたばこなどの投げ捨てが減ることを願っていました。



1年間の活動を振り返って

岐阜県青少年育成推進指導員 後藤 東

瑞浪市民の皆様には、日頃より青少年育成活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

本年度の活動を振り返ってみると、一番大きな取組は11月17日(日)に瑞浪市総合文化センターで開催された岐阜県青少年健全育成県民大会でした。瑞浪市青少年育成市民会議の構成員、町民会議関係者や少年センター指導員をはじめ、県下41市町村から600名近い方々に参加をいただきました。

瑞浪高等学校・麗澤瑞浪高等学校・中京学院大学附属中京高等学校の生徒による司会進行で大会が大いに盛り上がりました。高校生による司会進行は県民大会初の試みで、瑞浪市の青少年育成活動が市内の高校と上手く連携して進められていることを県内に広くPRする機会ともなりました。

大会では、本市民会議の取組を発表する機会があり、市民会議の組織編成や主張大会・高校生と語る会などの年間活動の様子を紹介しました。県民大会での発表を契機に、さらに青少年育成活動を充実させていきたいと考えております。今後とも、市民会議の活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

令和2年度 主な年間行事(予定)

- ・5月17日(日) 第1回青少年育成市民会議総会
- ・6月14日(日) 瑞浪市主張大会
- ・9月27日(日) 高校生と語る会
- ・2月14日(日) 第2回青少年育成市民会議総会